

PBL I -80 布づくり演習／Project Based Learning I

担当教員／Instructor 柏木 弘(美術学部生産デザイン学科テキスタイルデザイン専攻)

対象学年／Eligible grade - 開講学期／Semester 2019年度／Academic Year 前期／Spring

授業形態／Type of class

時間割コード／Registration Code PA80 単位数／Credits 1

備考／Remarks

オフィスアワー／Office hours

【サブタイトル／Subtitle】

木綿以前の繊維で織物以前の布をつくる

【授業のねらい／Course Objectives】

2000年から18年間本学でおこなわれたバナナ・テキスタイル・プロジェクトが残した成果を活かして、未利用繊維資源の有効活用をコンセプトとした学びの場を開講する。縄文時代から利用されてきた麻繊維について学び、繊維の変容過程を糸や紐、そして編み布制作を通して理解するとともに、身近に自生する植物の繊維から生まれる繊維造形のあり方と世の中に溢れるテキスタイルプロダクトとを比較する中で見えてくるさまざまな価値について考察する契機となることをねらいとする。

【到達目標／Course Goals】

学生諸君にはこれまで本学でおこなわれてきたバナナ・テキスタイル・プロジェクトについて知ってもらうこと。また、身近にあって当たり前の布について、その起源に触れることで布に関する新たな認識を持ち、それぞれの制作課題に取り入れることができる経験としてもらえることを授業の到達目標とする。

【授業の展開計画／Class schedule】

- 第1回 : 授業概要説明
- 第2回 : 木綿以前の繊維 - 麻について知る／考える
- 第3回 : 素材研究① 繊維を抽出する
- 第4回 : 素材研究② 繊維を績む／撚る
- 第5回 : バスケタリー制作①
- 第6回 : バスケタリー制作②
- 第7回 : 特別講義 関島寿子先生「樹皮の活用とバスケタリー」
- 第8回 : 織物以前の布 アンギンについて：縄文の編布から越後アンギンまで
- 第9回 : 編布制作① グループに分かれて構想計画
- 第10回 : 編布制作② 材料を整える
- 第11回 : 編布制作③ アンギン制作
- 第12回 : 編布制作④ アンギン制作
- 第13回 : 編布制作⑤ アンギン制作
- 第14回 : 編布制作⑥ アンギン制作
- 第15回 : 編布完成、発表

【履修上の注意事項／Notices】

テキスタイルの起源や古代からの繊維素材に触れることに関心をもち、意欲的に学ぶ学生の参加を希望する。

【評価方法／Evaluation】

出席回数50点、発表・レポート内容30点、授業への参加姿勢20点を総合的に評価する。

【テキスト／Textbooks】

なし

【参考文献／Bibliography】

随時配布、または研究室で閲覧できるようにする。

【準備事項／Preparation】

授業は主にテキスタイル棟のラボでおこなう。ラボ使用上の注意時事項及び服装を確認し遵守すること。